

1. ゲーム前に記入

- ① 大会名
- ② コート、試合番号、年 月 日（西暦）
- ③ 会場（ ）内に都道府県名
- ④ エントリー用紙よりチーム名、監督、副監督の氏名及びプレーヤーのナンバーと氏名を記入し、マネジャーはMを、キャプテンはナンバーをそれぞれ○で囲む。
- ⑤ 対戦チーム名（上のチームを左側に、下のチームを右側に記入）
- ⑥ 線審員の氏名・チーム名（記録員が記入）

2. ジャンケンの後

- ⑦ 対戦チーム名の（ ）内に、AまたはBを記入する。
（記録席からみて、左のコートをA、右のコートをBとする。）
- ⑧ サービス権を得たチームのサービス欄の、A又はBを○で囲む。
- ⑨ 両チームのキャプテン、監督のサインを採録する。
- ⑩ チームより提出されたサービスオーダーを、第1セットのプレーヤーナンバー欄の左上に記入する。
- ⑪ 交代プレーヤーは、S欄の上段に記入する。

サービスオーダーのプレーヤーナンバーが正しくエントリーされているか、エントリー用紙よりスコアシートに記入されたプレーヤーナンバーと照会する。

3. ゲーム中

- ⑫ 主審のプレイボールの吹笛時刻を、最上段の開始欄に記入する。
終了は主審のセット終了の吹笛時刻とする。
- ⑬ 第2、第3セット開始は、前のセット終了時刻の2分後の時刻を記入する。
- ⑭ サービス順のチェック欄の数字を(✓)でチェックする
- ⑮ 得点の都度、得点欄の数字を斜線で消す。
サービス権移行の記載例（別紙スコアシートによる）
Aチームのサービス権でゲーム開始・・・Aチームサーバーの3番のサービス順
チェック欄1に(✓)をする・・・Bチームが最初のラリーを制する。
※Bチームの得点欄の1を斜線/で消す
→Aチームの3番のサービス順のチェック欄にAチームの得点0を記入
→Bチーム4番のサービス順のチェック欄の1に(✓)をする→サーバーの確認
- ⑯ 記録途中で間違えて加点してしまったときの処理の仕方
(1)間違えて/を入れた得点を二重線で消す。✗
(2)改めて点を得たときは、前と逆向きの斜線\で消す。✗
- ⑰ サービスオーダー違反の反則によって相手チームに与えられた点数は○で囲む。
- ⑱ サービスオーダー違反の反則は、左下記入欄にわかりやすい文章で記入をする。

- ⑱ タイムアウトの要求は、下欄のT1、T2に○印をする。
※プレーヤー交代について
コートに入ったプレーヤーとベンチに退いたプレーヤーそれぞれの番号を斜線で消し、プレーヤーナンバー欄の左下、右上、右下の順にコートに入ったプレーヤー番号を記入する。
- ⑲ サービスオーダー違反のプレーヤーが得た点数の取り消しは縦線 で消す。
その取り消した点数を後で得たときは、前と逆向きの斜線\で消す。
- ⑳ ベンチに退いたプレーヤー番号は、S欄の下段左側から記入する。
- ㉑ 特例としてのプレーヤー交代をした時は、コートに入ったプレーヤーの番号を○で囲む。
- ㉒ 特例としてベンチに退いたプレーヤー番号は、次のセットのS欄に記入しない。
- ㉓ 特例としてのプレーヤー交代の内容を、左下記入欄に記入する。
- ㉔ 主審がキャプテンに示した注意や警告を記載する。
- ㉕ 主審が認めたメディカルタイムアウトや、自然災害等の発生によるテクニカルタイムアウトの内容を記載する。
- ㉖ セット終了の最終サーバーのチェック欄に最終得点を記入し、その得点を○で囲む。次のセットは、そのチームはレシーブチームとなる。
(次サービスチームのA又はBを○で囲む)

※第2. 第3セット開始について

- ⑳ セット間に前セット終了時のサービスオーダーを、監督又はキャプテンからプレーヤー交代の要求があるか副審に確認し、次セット欄に記入する。
・第3セットは、Bチームのプレーヤーナンバーを左右両方のB欄に記入する。
- ㉑ コートの交替時には、Bチームの右側の得点欄の数字を、それまでの得点分だけ縦線で消し、最終得点の下に横線を入れる。(⊥)
(BチームのS欄およびタイムアウト欄の記録も右側に転記する。)
(11点までに起きたことは、その都度右側に転記しておく。)

4. ゲーム終了

- ㉒ 主審のゲームセットの吹笛の時刻を記入する。
- ㉓ 両チームの得点欄の残りの数字をまとめて消す。
- ㉔ ゲームの結果を記入しサインする。(氏名・チーム名)
- ㉕ 副審、主審の順にチェックを受け、サインを採録する。(氏名・チーム名)
サービスオーダー表は、試合ごとに新しく書いてもらう。
(間違いを防ぐため、試合後はチームに返さなくてよい。)